

第四十三回 帝國議會 國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案外十二件特別委員會議事速記録第三號

大正九年七月二十五日(日曜日)午後一時三十八分開會

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、前回デ大概質問ハ終リマシタカラ、今日ハ討論ニ這入ラウト思ヒマス、併シ其際ニ於テ尙ホ御質問ガアリマスレバ御質問ナサレテモ宜シウゴザイマス、討論ニ這入リマス第一ニ此ノ國債償還資金ノ繰入ヲ爲ササルコトニ關スル法律案、之ニ對シテ御討議ヲ願ヒマス

○男爵池田長康君 大藏當局ノ御方ニ御伺ヒ致シタイ點ガアリマス、段々此委員會ニ於キマシテモ公債ヲ澤山募集スル御計畫ニナッテ居リマス、就キマシテ此國債整理基金ヲ一時御中止ニナルト云フコトニナリマスガ、一方ニ於テハ公債ヲ非常ニ募集サレル、併シ又他面ニ於テ此整理サレル所ノ方法ガ十分御講究ニナルト云フコトガ輕シセラレテ居ルト云フコトハ、非常ニ私ハ遺憾ニ考ヘラレル、尙ホ先般大藏大臣ガ小山氏ノ質問ニ對シテ、此剩餘金ヲ以テ此國債ヲ償還スル方法ヲ探タラ如何ト云フ御質問ガアタ際ニ、剩餘金ニ依リヨリモ此國債整理基金ニ依ツタ方ガ宜イト云フ御説明ガアリマシタ、所ガ此國債整理基金ヲ一時中止スルト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ事實廢止スルヤウナ形ニナリハスマイカト云フ私ハ見解ヲ有テ居ル、國防ノ爲メニ此減債基金ト云フモノガ、一時中止サレルノデアリマスルガ、十二年度マデハ必要デアアル十二年度以後ハ必要デナイ、然ルニソレヲ減債基金ト云フモノモ亦活用シテ居ルト云フ御話デアリマスガ、國防計畫ニ於テモ其計算ニ於テ見マシテモ今日カラ見テ明カニ不足ヲ生スル點ヲ私ハ認メルノデアリマス、ゴザイマスカラ、一方ニ於テハ歳入ノ増加ト云フモノモゴザイマセウガ、併シ國防計畫ニ於テ將來ニ於テ、段々ト經費ト云フモノガ嵩マテ來ルト云フコトヲ想像シマス、又國防計畫ノ必要ノ爲メニ大正十三年度以降ニ於テハ、其經費ノ必要ヲ認ムルガ爲メニ國債整理基金ト云フモノヲ又中止シテ行クト云フコトニナリマス、寧ロサウ云フコトデアレバ詰リ廢止ト云フ結果ニナリヤシナカ、問題トシテハ私共ハ國債整理基金ト云フモノヲ必ズ殘サナケレバナラヌト云フ意見デアリマセウガ、併シ其邊ハ私ハ、非常ニ矛盾ノ點ガアリヤシナカト云フコトハ、一方ニ於テ國債ヲ非常ニ募集セラレ、事業ヲ起サレルナラバ、又一方ニ於テ是等ニ對スル整理ノ方針ト云フモノモ、多少御考慮ニナル必要アリヤシナカト私ハ考ヘマス、其邊ノ御考ヲ尙ホ

一應伺ッテ置キタイト考ヘマス
○政府委員(神野勝之助君) 國債整理基金ニ付テノ御心配ハ、試ニ御尤ナコトト考ヘマス、今回矢張計畫ノ財源ニ充テマスルガ爲メニ一時中止ハ致シマスルガ、御手元ニ御覽ニ入レテアル答デアリマスガ、此將來ノ歳入歳出ノ概計表ハ今日ノ所カラ見マスルコト云フ、四年間中止ヲ致シマスレバ國債ノ償還ハ復舊シ得ル計畫ニナッテ居ルノデアリマスルカラ、十三年度カラハ必ズ復舊イタス、國債償還ノ繰入ヲイタス積リテアルノデアリマス、デアリマスカラ此四年間中止ヲ致シマスルガ、國債償還ヲ致シテ公債ヲ整理シテ行クト云フ方法ハ少シモ變ラヌノデアリマスルカラ、公債ノ整理ニ付テハ十分注意ヲ致シマシテ、國債ノ整理償還ニ遺憾ノナイヤウニ致シテ參ル積リテアルマス

○男爵池田長康君 今御話デゴザイマスガ、其邊ノ見込ノ點ニ付テハ私ハ多少違フヤウニ考ヘマスガ、將來十三年度ニ於テ國債整理基金ト云フモノガ復活スルト云フベキモノデアルト云フコトヲ今日申シマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(荒井賢太郎君) 他ニモウ御質問ハゴザイマセヌデスカ、何等カ本案ニ御意見ガアリマスレバ、御意見ヲ……
○小山健三君 此公債ノ問題ニ付キマシテ、先日大藏大臣ニ御尋イタシマシタノハ、第一ニ此減債基金ト云フモノヲ減ズルト云フコトハ、公債ノ價格ニ影響スルコトデアリマセウガ、又段々公債ノ殖ヘテ來ルニ付テハ、何等カ整理ノ方法ガ之ニナケレバナラヌ、減債基金ノ中止ニナッテ以上ハ或利餘金中デ必ズ是ハ年々ト云フコトデアリマセウガ、適當ノ機會ニ於キマシニ、剩餘金ノ中カラ此財政上ノ狀況ニ應ジテ幾分償還シテ行クト云フコトハ、價格ヲ維持スル上ニ於テ大變ニ必要ナコトデアアル、ソレニ付テ何カ政府ハ御考ヲ御持チニナッテ居ルカ、策二點ハ償還云々ト云フコトハ別ニイタシマシテ、公債ノ優待法成ルベク此國民ヲシテ公債ヲ歡迎シソレヲ成ルベク、所有セシムルヤウナ、方法ニ付テ御考ヲ御持チニナッテ居リマセウガ、或ハ又法律命令ノ結果ト致シマシテ、法人ナドガ所有シナケレバナラヌ積立金ノ如キ、或ハ責任準備ト云フヤウナモノニ對シテ、公債ヲ持タセルト云フヤウナコトヲ國家ガセシムルト云フコトモ一ツノ方法デアルト云フコトニ付テ御尋イタシマシタ譯デアリマシタガ、大藏大臣ハ其第二點、公債ヲ優待スル方法ニ付テハ大分御考慮ニナッテ居ルヤウニ伺ハレタハ、剩餘金ノコ

トニ付キマシテハ剩餘金ヲ以テ公債ヲ償却スルコトニ付キマシテハ、餘リニ御賛成デナカッタヤウデアリマス、私ハ此國債ト云フコトニ付キマシテ餘程深ク政府ガ御注意ヲ御拂ヒニナラナケレバナラヌト云フコトヲ信ジテ居ルモノデアリマス、段々此財政ノ膨脹ニ伴ヒマシテ、總テノ事業上必ズ年々歳入ヲ以テ支辨スルコトハ餘程困難デアリマセウ、況ンヤ軍事ノ費用ナリ又其ノ他天變地變……天變或ハ種々ナ變化ガ起ッテ參リマシテ、國家ノ爲メニ緊急ナル經費ヲ餘程出スケレドモ歳入デ支辨ノ出來ヌ場合ニ於テハ、何時ニテモ公債ヲ國家ガ相當ノ價格マデ募集シ得ル地位ニ一切ノ事情ヲ置イテ置クト云フコトハ大切デアッテ、モウ咽喉マデニ來ルト云フヤウニ公債ヲ募集シマフ、或ハ價格ガ下落シテ應募者ガ苦シムト云フヤウナ狀態ニ置クト云フコトハ是ハ決シテ安全ナル財政狀態デアハナイノデアリマス、是ハ餘程注意ヲ要スルト考ヘルノデアリマス、併ナガラ此減債基金ヲ御中止ニナルト云フコトハ、目下ノ一般ノ金融市場及ヒ經濟市場ニ於テ大シク影響ハナカラウト思ヒマスガ、減債基金ヲ御設クニナリマシタ時ニ主ナル銀行團體ナドガ政府ニ希望ヲ述ベマシタ、十二年頃ノ狀態カラ見マス、非常ニ此經濟界ハ膨脹シテ參ッテ居リマス、公債ノ高ハ若干殖エテハ居リマスルガ、併ナカラ國民一體ノ貯蓄ト云フモノハ非常ニ大キナッテ居リマス、其當時ノ狀態カラ見マス、數倍ニ國民ノ貯蓄ガ殖エテ居リマス、公債モ亦幾分殖エテ來テ居リマス、事實ハ比例的ニ云ヘバ公債ハ減ジテ來タト同ジヤウナ經濟狀態デアアルノデアリマス、ソコデ今三千万位ノ減債基金ノ中止ニナッテモ是ハ大シク影響ガアルト考ヘマセウ、併ナガラ大體減債基金ヲ始終置イテ置クト云フコトハ是モ一ツ研究シナケレバナリマセウノデアッテ、毎年三千万圓ヲ償還スルト云フコトヲ極メテ置イテ、サウシテ事實ニ於テ毎年數千万圓ヲ募テ置クバ、實際其償還基金ヲ置クト云フコトハ無意味ニナッテシマフ、一方ニ於テ償還シテ一方ニ於テ募シテ居ルト云フ譯デアリマス、矢張り實際ノ綿濟社會ニ必要ノアル點カラ考ヘマスルト、矢張り公債ハ剩餘金デ出來テ而モ其時金融狀態ニ應ジマシテ必要ト見ル時ニ公債ハ償還セラレ、又必要ガ無ケレバ……公債ヲ經濟社會ガ要求スルト云フヤウナ時ニ、償還スルヤウナ必要ハ無イ、却テ害ヲナシマス、ソレハ矢張り剩餘金制度ノ方ガ將來ニ於テ宜カラウト思ヒマスガ、是ハマア餘程御考究ニナル必要ガアルト思ヒマスガ、強ヒテ此際ニ何等意見ハ申述ベマセウガ、只今池田男爵ノ御

述ベニナリト通り、此事ニ付テハ一應政府ニ於テ御研究下サルコトヲ希望ヲ申上ゲタイト存ジマス、唯大藏大臣モサウ云フ御考ヲ御持チニナリテ居リマス、此公債ニ付キマシテ希望ト致シマシテ提出致シテ置キタイト存ジマス、ソレハ此公債ハ段々増加スル傾向ヲ持テ居リマス而モ一般ニ世界ノ公債市場ハ非常ニ歐洲ノ大戰以來暴加ヲナシテ居リマス、例ハ英國公債、或ハ米國公債ガ段々増加シテ行キマシテ、公債ガ餘リ歓迎サレヌヤウニナリテ來マス、日本ノ公債ノ向ニ賣レテ居タモノモ、自然ト此方ノ逆戻リト云フ状態ニナリテアリマス、又買換ヘテ發行シヤウト思ヒマシテモ餘程有利ナ條件デ無イト發行ガ出來ナイヤウナ状態ニ在リマス、獨リ公債バガリデゴザイマセヌ、社債ナドモサウ云フヤウナ事情ニナリテ來ルト、餘程此海外ノ金融事情ガ日本ノ公債市場ニモ影響シテ參ル、日本ハ矢張り日本ノ公債ヲ十分ニ消化スル方法ヲ設ケテ置カネバナラスト思ヒマス、ソレニ保險會社トカ貯蓄銀行トカ法律命令ノ結果ト致シマシテ或ハ準備金、或ハ積立金トシテ必ズ持タセルモノガアリマス譯デアリマス、サウ云フモノハ矢張り法律若クハ命令ニ依リマシテ必ズ此公債ヲ以テ之ヲ積立テサセルト云フヤウニ御規定ニナルコトガ必要デアル、然レバ段々ト消化スル一ツノ道ニナリテ參リマス、サウシテ公債ノ需要ヲ緩ニスル譯デアリマス、ドウカ此存意ヲ以テ政府ニ於テ御實行ニナリマスルヤウニ、私ハ希望ヲ提出致シマス、此減債基金三千萬圓ヲ御中止ニナルコトハ格別目下ノ狀態ニ影響ハ無カラウト存ジマス、之ヲ賛成致シマス

○委員長(荒井賢太郎君) 小山サンニ伺ヒマスガ只今ノ御希望ハ委員會ノ希望トシテ置キマス、
○小山健三君 サウ云フコトニ願ヒタイ、ドウカ委員皆様ノ御賛同ヲ得タイト思ヒマス
○委員長(荒井賢太郎君) 只今ノ御希望ハ御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 小山サンニ伺ヒマスガ只今ノ御希望ハ委員會ノ希望トシテ置キマス、
○小山健三君 サウ云フコトニ願ヒタイ、ドウカ委員皆様ノ御賛同ヲ得タイト思ヒマス
○委員長(荒井賢太郎君) 只今ノ御希望ハ御異議アリマセヌカ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハハ御異議ナイ、本案ハ確定致シマシタ、可決致シマシタ、次ハ事業公債基金特別會計法中改正法律案、…本案ハ別ニ御發議モナイヤウデアリマス、御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 只今ノ御希望ハ御異議アリマセヌカ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハハ御異議ナイ、本案ハ確定致シマシタ、可決致シマシタ、次ハ事業公債基金特別會計法中改正法律案、…本案ハ別ニ御發議モナイヤウデアリマス、御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 只今ノ御希望ハ御異議アリマセヌカ

○仁尾惟茂君 私ハ此法案第一條ニ修正ヲ加ヘタイト思ヒマス、其修正ハ第一項ノ「二億八千二百八十萬圓ヲ限リ」此十三字ヲ削除イタシマシテ、之ニ代ヘマスルノ「當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ」此十三字ヲ以テ代ヘタイト考ヘマス、其修正ノ理由ハ凡ソ公債等ヲ以テシマスル處ノ財源ヲ備ヘマスルニハ、先ヅ支出ノ根據ト云フモノヲ見ヌマシテ、然後之ヲ規定スルヲ以テ、當然ノコトト承知致シマス、然リマスルニ本案ハ單ニ其事業ノ名稱ノミニ依テ、金額即チ發行額ヲ掲ケマシタ、其支出ノ根據タル事業ノ計畫及ビ金額ノ配當額等ハ之ニ伴テ居リマセヌデアリマス、甚ダ漠然タルモノデアリマス、之ガ規定ニ甚ダ苦ミマス、處ノモノデアリマス、ドウカ規定ニモ差支ナイ、又事業ノ施行上ニ於テモ差支ナイ點ニ於テ、ドウカ致シタイト云フ者ヨリ、斯ク修正ヲ施シマシテゴザイマス、此修正ノ如ク致シマスレバ、豫算額ノ範圍内ニ於テ發行スルコトニナリマスレバ、豫算ハ必ズ其支出ノ根據ト云フモノハ明確ニ決定スルモノデアリマスレバ、此政府原案ノ如ク空漠タル憂ハ全ク除カレマセウ、安心シテ規定シ得ラレ、又事業ノ施行上ニ於テモ差支ナイコト存ジマス、固ヨリ道路改良ノコトニ付サマシテハ必要ト認メマシテ、是ガ賛同ヲ惜ミマセヌケレドモ、根據ノ乏キモノニ對シマシテ規定ヲ與ヘマスルノハ、誠ニ爲シ難イコトデアリマス、考慮ノ上此修正案ヲ提出致シマシテゴザイマス、ドウカ御賛同ヲ願ヒタイ

○委員長(荒井賢太郎君) 修正案ニ賛成ノ方ガアリマス
○委員長(荒井賢太郎君) 他ニ御發議アリマセヌカ、…ソレデハ修正案ニ付テ決ヲ採リマスガ、只今仁尾サンカラ御提出ニナリマシタ「二億八千二百八十萬圓ヲ限リ」ト云フコトヲ削リテ、當該經費豫算ノ範圍内ニ於テ」ト云フコトニ修正スルト云フ意見ニ御同意ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス
總員起立
○委員長(荒井賢太郎君) 一致ヲ以テ可決ト認メマス、ソレデハ修正案ノ通りニ可決ニナリマシテ、次ニ電信事業公債法案、之ヲ議題ニ供シマス、…本案ハ別ニ御異議アリマセヌカ、…

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ナイト認メマス、可決、次ニ電信事業公債法案中改正法律案、…本案ハ別ニ御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ナイト認メマス、可決、次ニ電信事業公債法案中改正法律案、…本案ハ別ニ御異議アリマセヌカ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ナイト認メマス、可決、次ニ電信事業公債法案中改正法律案、…本案ハ別ニ御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ナイト認メマス、可決、次ニ電信事業公債法案中改正法律案、…本案ハ別ニ御異議アリマセヌカ

○男爵東郷安君 本案ニ付キマシテ私ハ簡單ニ自分一個ノ希望ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、先般今回ノ公債法中御計畫ニナリテ居リマス朝鮮ノ鹽田擴張費ニ付キマシテ、當局並ニ大藏當局ノ御意見ヲ伺ヒマシタ、此鹽田擴張ノ計畫ハ、目下中央ノ財政經濟調査會ニ於テ鹽ノ根本問題ヲ協議セラレテ居リマス、點ニハ觸レテ居ラナイ所ガ多クアルヤウニ承ハリマシタ、私共ハ是ハ極メテ重大ノ問題デアラウト存ジマス、朝鮮當局ニ於キマシテモ、此公債ニ依テ鹽田擴張ノ事業ヲナサル場合ニ於テハ、此根本問題ノ決定ニ付テハ、深甚ナル考慮ヲ拂ハレムコトヲ、特ニ私ハ希望イタシテ置キマス

○仁尾惟茂君 本案ニ對シマシテ一應意見ヲ申述ベタイト考ヘマス、是マデ公債ヲ以テ財源ニ充テマシタモノハ、專ラ利益の、所謂生産の事業ノモノノミニ充テ來テ居リマス、是ハ全ク財政基礎ノ鞏固ヲ保ツガ爲デアリマス、濫ニ發スルコトヲ戒メマシテ、一ツノ宜キ方針ヲ以テ今日マデ參リマシタデアリマス、然カアリマスルニ本案ノ公債計畫中ニハ監獄新營費、警察官署新營費、醫院新營費、警備電話擴張費、斯ノ如キ全ク一般行政上ノ事務ニ屬スルモノニテ、決シテ生産の事業ト認メラナイモノガアリマス、爲ニ是ハ全然削除イタスハ當然デアラウト考ヘマス、然カアリマスルニ事柄ノ如何ヲ顧ミマスレバ朝鮮現下ノ狀況ハ誠ニ已ムヲ得ザル種々ノ狀況ガアリマス爲ニ、此支出モ又從テ必要ト感ジマス、就キマシテハ是ガ取捨上ニハ甚ダ苦ミタシマス、次第デアリマス、依テ茲ニ私ハ已ムヲ得ズ一ツノ希望ヲ附シマシテ本案ニ賛成ヲ致サント存ジマス、其希望ノ要點ハ今回ノ朝鮮事業公債中ニハ監獄新營費、警察官署、醫院新營費、警備電話擴張費、是等ハ一般歳入ヲ以テ支辨スルヲ正當ト認ムル經費ガ計上イタシテアリマス、今回ハ朝鮮特殊ノ事情ニ顧ミ已ムヲ得ズトスルモ、將來此種ノ經費ハ公債ニ依ラザルコトヲ希望ス、斯様ナ希望ヲ附シマシテ之ニ賛成ヲ致シタイト存ジマス、成ルベクハ委員會ノ希望トシテ提出イタシマス

○委員長(荒井賢太郎君) 委員會ノ希望トスルコトニ御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 委員會ノ希望トスルコトニ御異議アリマセヌカ

○委員長(荒井賢太郎君) 委員會ノ希望トスルコトニ御異議アリマセヌカ
○委員長(荒井賢太郎君) 委員會ノ希望トスルコトニ御異議アリマセヌカ

マセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ナシト認メマシテ可決、次ハ樺太事業公債法中改正法律案... 御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○男爵東郷安君 私ハ此樺太事業公債ノ問題ニ付テ申上ゲルノデナクテ、茲ニ丁度事業公債ニ關スル法案ガ全部議了サレタコト存ジマスカラ、此機會ニ於テ今日ノ公債政策ニ關スル卑見ヲ簡單ニ申上ゲタイト存シマス、ドウゾ御許シヲ願ヒマス、私ハ本院ニ席ヲ列シマシテ以來、數十ノ特別委員ニ列シマシタケレドモ、此特別委員會ニ於ケル私ノ感シ位、甚タ困難ヲ感ジタモノハナイト云フコトヲ茲ニ申上ゲタノデアリマス、而シテ其苦衷ヲ表白シテ、私ノ是等ノ法案ニ對スル意見ニ代ヘタイト思ヒマス、今日マデ本議會ニ於キマシテ度々色々ノ事項ニ涉リマシテ、政府ノ公債政策、又豫算ノ大部分ヲ占メテ居ル國防計畫等ニ對シマシテ、私ノ卑見ヲ申述ベル機會ガアリマシタカラ、是等ヲ再ビ茲ニ繰返スト云フコトハ省略イタシタイト存ジマス、要スルニ今日ノ如キ公債政策ヲ現内閣ガ御執リニナルノハ、誠ニ我ガ財界ノ前途暗澹タルモノデアラフ、頗ル寒心ニ堪ヘナイト本員ハ信ズルノデアリマス、而シテ政府ガ發行セラレタル公債ノ實績ニ鑑ミマシテモ一回ハ一回ヨリ條件ヲ好クシ、而シテ一回ハ一回ヨリ其成績ガ惡イノデアアル、私ハ又將來同ジ此傾向ヲ繰返スコトデハナイカト思ヒマス、斯ク信ズルノハ日本ノ財政史ニ於テ當然ノ歸結デアアル、同時ニ大戦ノ餘波ヲ受ケテ今日ハ英吉利佛蘭西其他ノ交戰國ガ非常ナ苦シマシテ居ル、而シテ公債ノ利廻リヲ好クシタモノガアル、中央銀行ノ利子ハ益、昂騰シテ來ル、此方面ニ於テハ益、國歩艱難ニ陥リツ、アルト云フ事實ハ、先般ノ豫算總會ニ於テ私ト大藏大臣トノ間ニ申上ゲテ置イタコトデアリマスカラ、是モ再ビ茲ニ繰返ス要ハ無イト思ヒマス、而シテ我國ハ公債政策ニ於テ、若モ今日ノヤウナ態度ヲ現内閣ガ御繼續ニナリマシタナラバ、矢張英吉利佛蘭西ガ昔メ來タ如キ結果ニ陥ルコトハ亦當然ナコトデアリマス、若シ果シテサウデアリマスナラバ、今日ノ不景氣デ直チニ此一兩年ニ來ルベキ此短期公債濫發ノ壓迫ニ依ッテ我々ハ少カラズ財界ニ於テ惡影響ヲ受ケルコトト思ヒマス、ノミナラズ國防計畫ニ於テ我々ハ益、多大ナル經費ノ支出ヲシナケレバナラヌ運命ニ迫ラレテ居ルノデアアル、又短期公債整理ノ爲ニ今年度英吉利ナド斷行シタヤウニ遂ニ増税ニ依ラナケレバナラヌ、然ラバ國防計畫ノ必要ニ依ル増税ト、此公債整理ニ依ル増税ト、其他各方面ニ現在シテ居ル事業費ノ爲ニ要スル公債、色々ナ方面カラ公債ヲ出サヌケレバナラヌ、租税ノ増徴ヲシナケレバナラヌ、誠ニ國家財政ノ前途ハ暗黒デアアル、斯ウ見ナケレバナラヌノデアリマス、而シテ是等ノコトハ當委員會ニ於キマシテハ、官民ノ財界ニ通ジテ長ク御經驗ノアル方ニカ澤山アルノデアリマスカラ、斯ル明瞭ナコトヲ諄々シク申上ゲル必要ハ無イト思ヒマス、唯今マデノヤウナ公債政策ヲ執リテ御出ニナルナラバ、誠ニ恐ルベキ結果ヲ生ズル、付キマシテハ實ハ理論一方カラ申セバ、姑ク是等ノ平和的ノ事業モ控ヘテ戴キタイト云フ論モ立ツノデアアル、何分戰時中是等ノ文化的事業ハ多大ナ停滯ヲ來シ、又現在及將來ニ於テ日本國運ノ進展ノ爲ニ是等ノ事業ハ一日モ缺クベカラズトスルナラバ、或ハ茲ニ誠ニ困難ナル立場デアハリマフケレドモ、私ハ姑ク是等ノ公債法ヲ認メマスガ、是等ノ財源ト支辨ハ又借入金ノ範圍ニナレ居ル、當局ニ於ケレマシテハ成ルベク、財界ノ壓迫ニアラズ將來ノ經濟界ニ惡影響ヲ及ボサヌヤウニシテ、財源ノ供給其運用ヲ誤ラヌコトヲ私ハ切ニ希望イタシマス、是等ノ事業國債ニ對シテハ此意味ヲ以テ御同意ヲ申上ゲルト云フコトヲ茲ニ表白イタシテ置キタイト思フノデアリマス

○男爵池田長康君 私モ東郷男爵ト同様ノ意見ヲ有シテ居リマス

○委員長(荒井賢太郎君) 樺太事業公債法中改正法律案、別ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ是ハ可決ト致シマス、次ハ大正五年法律第四號中改正法律案、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ガ無イト認メマス、可決、次ハ國債整理基金特別會計法中改正法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ガ無イト認メマス、可決、次ハ家祿賞典祿處分施行法中改正法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ガナイト認メマス、可決、次ハ京釜鐵道買收法中改正法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ガ無イト認メマス、可決、次ハ鐵道國有法中改正法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) 御異議ガ無イト認メマス、可決、ソレデハ是デ全部可決ニナリマシタ、是デ閉會イタシマス

午後二時七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 荒井賢太郎君
副委員長 小山 健三君
委員 子爵榎本 武憲君
男爵東郷 安君
男爵池田 長康君
仁尾 惟茂君
中村 純九郎君

國務大臣

政府委員

朝鮮總督府事務官 水口 隆三君
內務省土木局長 堀田 貢君
大藏次官 神野 勝之助君
大藏省主計局長 西野 元君
大藏省理財局長 森 俊六郎君

內務大臣 床次 竹二郎君

大正九年八月二十六日印刷

大正九年八月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局